



県立高校の再編整備に関する質問にお答えします!

1 県立高校の再編整備にはどんな目的があるんですか。

高校再編は「高校段階で求められる教育環境を確保すること」を目的に進めています。

高校は、中学校と異なり、各教科が複数の科目に分かれ、それぞれ専門の先生が必要です。また、高校では、必修科目が全体の授業時間数の約4割程度にとどまり、その他は、各学校が独自に生徒の進路希望などに応じて各教科・科目の授業を行うこととなりますので、生徒・先生が少なくなると開設科目数が限られ、生徒の多様な興味・関心、進路希望などに応えにくくなります。

県教育委員会としては、中学校卒業者の減少傾向が続いている厳しい環境の中、高校再編を進めることで、教育環境の確保に努めていきたいと考えています。

2 なぜ、一定の学校規模を確保する必要があるんですか。

小規模校には長所もありますが、次のようなことから、高校は一定の規模以上であることが望まれます。

- ① 生徒数に応じて教師が配置されるため、生徒数が少ないと教師の数が限られ、生徒の興味・関心・意欲をかきたてる教科設定が難しくなり、選択できる科目などが制限されます。
- ② 小規模校では、入りたい部がない、部があっても人数が足りず団体出場ができないなど、部活動が限られます。
- ③ 高校教育では、様々な考えをもった教師や生徒との出会いによって刺激を受けながら、いろいろな体験を積み重ねて、社会性や他者とのコミュニケーション能力を身につけ、人間の幅を広げ、自我をつくり上げていくことが求められますが、小規模校ではそのような機会が限られます。



八代清流高校



上天草高校



八代清流高校



矢部高校



水俣高校

後期実施計画(球磨地域)素案は、球磨地域の子どもたちが将来にわたって地域を担っていくことのできる人材に育てほしいとの願いを込めて、県教育委員会です承されました。皆様の御理解をお願いいたします。



お問い合わせ先
熊本県教育庁教育指導局高校教育課高校整備推進室
TEL:096(333)2684

後期実施計画(球磨地域)素案掲載ホームページ
<http://kyouiku.higo.ed.jp/page2006/002/>

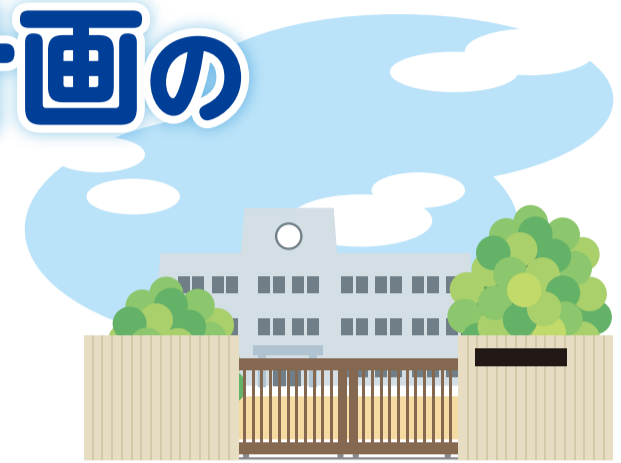
ホームページアドレスのご案内
★熊本県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.higo.ed.jp/>)
★熊本県のホームページ (<http://www.pref.kumamoto.jp/>)
★CoLaS(熊本県教育情報システム) (<http://www.higo.ed.jp/>)
★生涯学習推進センター (<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/index.asp>)

ばとん・ぱすに対するご意見・お便り募集!! 各コーナーへのご意見・ご要望、アイデア、取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽にお便りください。お待ちしております。 発行年度:平成26年度

特集
県立高校の再編整備計画の素案

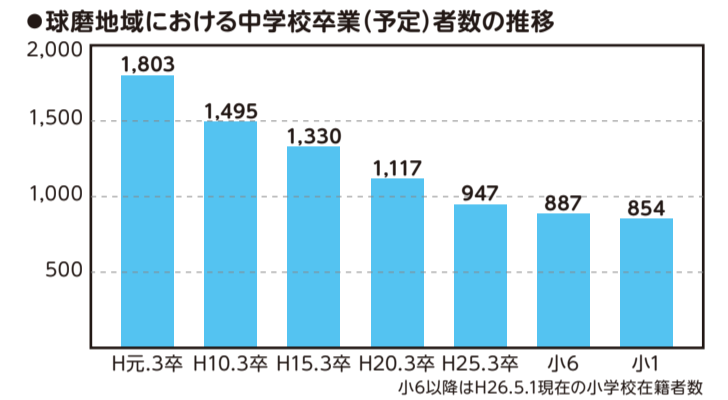
県立高校の再編整備計画の素案を公表しました

平成26年10月の県教育委員会において「県立高等学校再編整備等後期実施計画(球磨地域)素案」が了承されました。再編整備の対象となる高校は、多良木高校、球磨商業高校及び南稜高校の3校です。現在、この素案をもとに、地域の皆様に御説明し、御意見をうかがっています。



県立高校の再編整備の必要性

高校教育は、大人になる直前の大切な時期にあたります。この時期では、人間の幅を広げ自我を完成させていくために、小中学校より大きな集団で様々な考えを持った教師や生徒との出会いが求められるとともに、将来の進路につながる科目の選択履修が求められます。少子化とそれに伴う県立高校の小規模化という状況変化の中、このような教育環境をしっかりと確保していくために県立高校の再編整備が必要となっています。



後期実施計画(球磨地域)素案公表までの経緯

平成19年10月
「県立高等学校再編整備等基本計画」決定

対象校 多良木高校、球磨商業高校及び南稜高校

再編整備の方向性等

- ・3校を2校に、新しい学校として発展的に再編・統合し、現在の学科を基本とするか、現在の学科を生かした総合選択制又は総合学科を導入。
- ・校地は実施計画策定の段階で検討する。

数十回に及ぶ地域説明会や個別説明会の開催、パブリックコメント等を踏まえて教育委員会で決定

平成21年3月の県議会で基本計画の実施について決議

●球磨地域における再編対象校の入学人数の動向

高校名	定員	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
多良木高校	120	57	89	85	116	84	109	69	64
球磨商業高校	200	180	182	139	168	116	110	110	102
南稜高校	240	232	231	190	191	144	149	142	157

平成25年3月
「県立高等学校再編整備等後期実施計画」決定

多良木高校、球磨商業高校及び南稜高校の3校を2校に、新しい学校として発展的に再編・統合することとし、再編・統合に係る実施計画については、今後の入学人数の動向等を踏まえ、後期の取組期間の最終年度である平成27年度までに策定する。

平成24年度の3校の入学人数が、適正規模下限の目安である1学年4学級程度(121人以上)に近い人数で拮抗したこと、その後の入学人数の動向を踏まえて、実施計画を策定することとしたもの。



平成26年10月
「県立高等学校再編整備等後期実施計画(球磨地域)素案」公表

平成25年度及び平成26年度の入学人数の動向等を踏まえ、新校Aの校地を現球磨商業高校に、新校Bの校地を現南稜高校にすることで素案が了承されました。

地域の子どもたちがどの高校を選択してきたか、その入学人数の実績を最も重視しました

